

第1回生駒市総合計画審議会（第一部会）

開催日時 平成29年7月24日（月） 13:30～

開催場所 生駒市役所 403・404会議室

出席者

（委員）中川部会長、森岡委員、福谷委員、吉田委員

（事務局）坂谷政策企画推進課長、岡村政策企画推進課課長補佐、日高政策企画推進係長、
片山政策企画推進係員

欠席者 なし

議事内容

(1)各小分野の検証

(2)その他

【事務局】（開会宣告、配布資料確認）

以下、発言要旨

【事務局】 行政側の分野全体の進捗度について、以前は各項目に数値的な判断基準を設けていたが、今は数値的な基準を設けておらず、「市民実感度」、「指標」、「市民の役割分担」、「行政の4年間の主な取組」の4項目を総合的に判断して、各小分野に設定している「4年後のまち」にどの程度近づいているかを主担当課において判断している。各項目の進捗度に囚われることなく、「4年後のまち」にどの程度近づいているかを意識して判定していただきたい。

No. 111 市民協働

【森岡委員】 ワークショップ開催回数の指標は、数が少なく統計的に評価できない。あくまでもワークショップを開催した結果、どのような成果があったかが重要。それを知った上で、開催回数が評価できるものかどうか判断することができる。

【福谷委員】 指標で判断すると実現できていると思うが、私の実感としては、市民はまだそこまで関心が無いのではないかと思う。

【吉田委員】 積極的に活動している人はワークショップに参加するなど頑張っているが、そうでない人はほとんど関心がないように思う。積極的な人とそうでない人とのギャップが大きい。

【中川部会長】 評価はCが妥当だと思う。行政の取組自体は評価できるが、参加する市民の実感が上がっていない。行政と市民との間に乖離が生じている。

【事務局】 市民の中で温度差があることは事実だと思うが、目安としてどれくらい市民参加があれば評価に値するのか。

【中川部会長】 市民参加が活発な自治体でも20%、30%はありえない。統計的に人口の1%が関の山である。目安として1%の市民参加を目標とされてはどうか。

【福谷委員】 満足度調査の設問が分かりづらく回答しづらい。

【中川部会長】 「4年後のまち」の実現度を聞いているので仕方ない面もあるが、注釈を入れると良いと思う。

No. 112 情報提供、情報公開

【森岡委員】 行政以外でも色々な団体等で情報発信が行われている。まずはそれらを把握して、発信しやすいように手助けできれば良いと思う。

【中川部会長】 行政だけでなく、市民も意識していかなければいけない。市民広報担当に市をPRしてもらう制度もある。

【事務局】 市公式フェイスブックの「まんでんいこま」では、市民が色々な情報を発信している。また、SUNFESTAでは、フォトブースを設置し、参加者がSNSに投稿しやすいような仕掛けを作った。

【中川部会長】 評価としては、Cで良いと思う。よろしいか。

【各委員】 (異議なし)

No. 121 地域活動・市民活動

【森岡委員】 指標②2のマイサポいこまの届出率の低下理由について、単に大口登録団体が減っただけでなく、登録事務が煩雑であったり、条件が厳しいとい

った事情もあるのではないか。

【事務局】 大口というのは、団体の所属人数が多いという意味ではなく、事業規模が大きいという意味で捉えていただきたい。

【中川部会長】 登録団体数だけでなく、補助金がどのように活用されるかが重要だと思う。

【森岡委員】 飲食に係る経費に対しては、一律に事業費として認めないということになっている。難しいと思うが、もう少し使いやすい制度であっても良いのではないかと思う。

【中川部会長】 評価としては、Cでよろしいか。

【各委員】 (異議なし)

№. 131 人権

【吉田委員】 人権問題に関する講演会等については、広報紙でも見た。積極的に取組まれていると思う。

【中川部会長】 評価は、Bで良いと思う。よろしいか。

【各委員】 (異議なし)

№. 132 男女共同参画

【福谷委員】 女性が積極的に頑張っているという実感はある。

【森岡委員】 男女共同参画と言っているが、啓発冊子等は女性向けに作成されていると思う。男性に向けても発信していく必要があると思う。

【中川部会長】 取組としては効果が出てきている。もっと男性が入ってきやすいよう工夫が必要だと思う。評価としてはCでよろしいか。

【各委員】 (異議なし)

№. 133 多文化共生

【事務局】 指標の日本語教室の学習者が増加しているのは、東南アジアからの職業訓練性が10数名市内に就業している影響が大きい。

【中川部会長】 評価としては、Cで良いと思う。よろしいか。

【各委員】 (異議なし)

№. 141 行政経営

【福谷委員】 市民側の取組として、何かしていくべきだと思う。市民がまちを好きになっていくことで、市民実感度も向上すると思う。

【中川部会長】 評価としては、Cで良いと思う。よろしいか。

【各委員】 (異議なし)

№. 142 行政サービス

【森岡委員】 指定管理者制度のモニタリング実施率が100%なのは当然のことだと思う。内容も当たり障りのない評価が記載されていると思う。

【中川部会長】 各項目の評価に主観が入っている。利用者に対する満足度アンケートについても何件回収しているのか分からない。「接遇に対する満足度」、「施設の満足度」、「サービスに対する満足度」の3つに分けて調査し、少なくとも全利用者の2割から3割は回収すべき。これを基にモニタリングすると、指定管理者からシャープな自己評価が出てくる。もっと客観的なデータをとる努力をしてほしい。

【森岡委員】 当たり障りのない評価ばかりだと、モニタリングという評価システムそのものに対して信頼できなくなる。

【中川部会長】 指定管理者制度の対象となり得る公の施設は山ほどあるが、定型的なサービスを供給する駐車場などの施設と人的サービスを供給する教育・福祉機能を持つ施設は、峻別する必要がある。専門技能を持った職員が人的サービスを行う施設では、コスト削減をして人件費を下げることを良しとする評価を行ってはいけない。それにより良い人材が集まらず、施設としての機能を失ってしまう恐れがある。単に利用率や利用料収入が上がれば良いというものではない。事業発注にあたって、施設が持っている公共的使命を放棄するような発注をしてはいけない。なんでもかんでも指定管理者制度を導入して経営合理化を図れば良いというものではないということを認識する必要がある。

【森岡委員】 施設を利用するとき、指定管理者の対応に不満を抱くこともある。指定管理者には、市民サービス向上を第一に取組んでもらいたい。

【中川部会長】 評価としてはBでよろしいか。

【各委員】 (異議なし)

【中川部会長】 本日予定していた審議案件については以上である。全般的に何かご意見等あるだろうか。

【各委員】 (特になし)

【事務局】 (庶務連絡、閉会宣告)

— 了 —